

# 建築関連5団体が共同宣言 生活・社会・文化環境づくりに貢献

として建築・まちづくり  
に取り組んでいくと宣言  
した。

「建築・まちづくり宣言」の基本方針は、▽すべての人々が生き生きと健康に暮らせる、安全・安心な生活環境づくりに貢献▽健全で活力ある生産・経済活動を支える、持続可能な社会環境づくりに貢献▽人々が誇りと愛着を持ち、地域固有の自然や歴史を継承する、豊かな文化環境づくりに貢献—の3項目で構成される。

宣言では、建築が私的なものであっても、その存在は社会・文化的環境の一部を形成すると指摘した上で、建築の創造行為は個人の利益だけでなく、公共の利益にも関わりと強調。建築・まちづくりで市民・行政と連携して専門家の役割と責任を果たし、公共的価値の実現のために貢献していくとしている。

日本は豊かな自然風土に恵まれているものの、時に自然の脅威にさらされる国でもあると指摘。日ごろから地球環境に配慮し、かけがえない自然を守りつつ、災害に強い建築・まちづくりを推進し、災害が起きた時に連携して復旧・復興活動を支援していくとした。

日本建築士会連合会（士会連合会、藤本昌也会長）、日本建築士事務所協会連合会（日事連、三栖邦博会長）、日本建築家協会（JIA、芦原大郎会長）、日本建設業連合会（日建連、野村哲也会長）、日本建築学会（和田章会長）の建築関連5団体は20日、建築・まちづくりに関する共同宣言を発表した。建築の質と性能の確保、建築・都市文化の振興に貢献し、安心・安全で持続可能な社会に向けて建築・まちづくりを推進。生活、社会、文化の環境づくりに貢献することを基本方針

2011.9.21 建設工業